



「紙芝居を見る子供たち」の写真から

左は今年の春に寄贈された写真資料のひとつで、昭和四十から四十五年（一九六五から一九七〇）頃の中区西伊場町で撮影されたものです。集まる子供たちの向こうには、長屋が続いています。現在は長屋はなく、マンションや住宅が並んでいます。寄贈者の方の話では、元日本たばこ産業株式会社浜松工

場の北側には、このような長屋がいくつも建っている。「百軒長屋」と呼ばれていたそうです。長屋の横では紙芝居が行われています。街頭紙芝居は昭和五年（一九三〇）頃から始まり、戦後、娯楽があまりなかった子供たちに人気がありました。

紙芝居屋は、子供たちが幼稚園や小学校から帰宅する頃、自転車で何か所か場所を回ります。子供たちは、紙芝居の上演が始まる前に水あめ、せんべいなどのお菓子やくじを購入し、お菓子を食べながら紙芝居を見ました。

紙芝居の物語は、怪奇ものや江戸時代を舞台にした時代劇、ヒーローが活躍する冒険活劇、悲しい事件にあいながらも健気に生きる女の子を描いた新派もの、笑いを誘うマンガものなどがあり、これらの物語を三、四種類組み合わせ上演しました。

写真の紙芝居の箱には、鴨江町（中区）に紙芝居の配給所があったことが書かれ、紙芝居はおそろしくそこから借りたものと思われる。紙芝居屋は配給所から紙芝居を借りて使ったため、紙芝居を貸す組織に所属する必要がありました。紙芝居屋は子供たちが購入し

たお菓子の売り上げから借りた紙芝居の料金とお菓子の仕入れの代金を引いた金額が紙芝居屋の収入となりました。

しかし、昭和三十年後半になると、街頭紙芝居は衰退していきます。昭和三十四年（一九五九）の段階で、浜松市内で営業をしていたのは、農業などと兼業していた人がほとんどで、専業の紙芝居屋はほとんど廃業し、転業していきました。その理由のひとつに、昭和二十八年（一九五三）から始まったテレビ放送があります。浜松では昭和二十九年（一九五四）にテレビの画像が受信できるようになり、当初は商店や工場、裕福な家庭などが購入しました。皇太子御成婚の翌年、昭和三十五年（一九六〇）三月の浜松でのテレビの普及率は十七・五%、東京オリンピック開催の昭和三十九年（一九六四）三月では九三・七%となり、翌年の三月では一〇〇%を超えました。この頃になると、家庭でテレビを見ることができるようになり、このほかにも付録がついた少年少女雑誌や野球盤などの娯楽が登場したことで、紙芝居を見にくる子供たちは徐々に減っていきました。

写真資料から、今は見ることができない当時の様子を知ることができます。

【参考】

『浜松市史』五（二〇一六）

『浜松市統計書 第二十七回 昭和四十一年度版』



紙芝居を見る子供たち

とおし と いかし



とおし

「とおし」は、ウナギの稚魚であるシラスウナギを捕る時に使われていた道具です。シラスウナギは「メッコ」とも呼ばれました。シラスウナギの漁は12月から解禁され、上の写真のとおしは、袋になっている網を杭と錨で固定して設置し、今切口から潮の流れにのってくるシラスウナギを網で受け止める大メッコ漁で使用されていました。

シラスウナギは体長約 4~6cm で体が透き通っています。とおしは三段になっており、下の段にいくほど網の目が細かくなっているため、上から流し込むと、シラスウナギ以外の魚やごみは上の段にひっかかります。一番下の段にたまったシラスウナギは、箱に網を張り、水につけた「いかし（いけす）」に入れられます。

プラスチック製のかごをいかしに使うようになった昭和の終わり頃までは、写真のとおしといかしは漁師の方が自分で作っており、壊れる度に作り直していたそうです。



いかし

催し物のご案内

★テーマ展

「新収藏品展」

10月23日(土)～1月10日(月・祝)

博物館では、寄贈や購入により資料を収集しています。今回の展示では、近年収集した古文書・絵図・民具などの歴史・民俗資料の一部を紹介します。

★小展示「社会科自由研究優秀作品展」

10月5日(火)～11月7日(日)

市内の小・中学生による自由研究の優秀作品を展示します。

★小展示「道具たちの100年」

10月26日(火)～3月2日(水)

小学校社会科「道具とくらしのうつりかわり」に合わせ、くらしの道具の変遷を紹介します。

★展示ガイドツアー

11月3日(水・祝) ①10:00～ ②13:30～

文化の日の無料開放に合わせて、館内の展示をガイドします。

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

11月13日(土) 14:00から30分程度

会場：蛸塚公園内旧高山家住宅
参加費：無料 ※事前申込み不要。直接、会場へ

★ほんわかイラスト年賀状講座

12月11日(土) ①10:30～ ②13:30～

手描き、手作りの年賀状の作り方とその良さを紹介します。

対象：小学3・4・5・6年生、中学生とその保護者

定員：各10名 参加費：1人100円

申込み方法：11月27日(土) 9:00～ 電話受付

※各イベントの内容、定員、参加費などの詳細は、ホームページ、SNSでご確認ください。

※イベントは、変更・中止になる場合があります。

左から
ホームページ
ツイッター
インスタグラム



新型コロナウイルス感染予防対策として、ご来館の皆様は以下のことをお願いしています。

- ・マスクの着用
- ・館内での会話は控えめに
- ・同行者以外との距離をあげる

※体調がすぐれない場合は来館をご遠慮ください。

浜松市博物館

開館時間 9:00～17:00

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール: hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

10～12月の休館日 10/18, 25, 11/1, 4, 8, 15, 22, 24, 29, 12/6, 13

TEL 053-456-2208 FAX 053-456-2275

HP: <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>